

平成29年度 研修計画

(1) 研究主題

**自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成
～かかわり合いを通して学びを深めていく指導を通して～**

(2) 主題設定の理由

①学校教育目標

夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!
(徳) (知) (体)

《めざす子ども像》

めあてをもち、他とのかかわりを通して思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども
《本年度の重点より》

- 体験・体験的な活動を重視する。
- 筋道を立てて思考することができるようにする。
- 発信力を付ける。(話す・書く・描く・聞く～話し合いは聞き合い～)
- 家庭学習を充実させる。
- 特別な支援を要する児童への配慮をしながら進める。

②児童の実態

昨年度は、めざす子どもの姿を「めあてをもち、課題や問題の解決にすすんで取り組む子ども」とし、実現に向けて研修を進めてきた。また、一昨年度から継続して、学びの基礎となる学習スタイルや「学びの約束」を共通理解し、丁寧な指導も重ねてきた。このような取組を通して、学習に対してめあてをもち、課題を解決するためにこれまで学んできたことを活用したり、友達と話し合ったりしながら解き明かすことの楽しさを重ねられてきた。また、学習する意欲に高まりが見られ、基礎的な知識や技能も向上が認められるようになってきた。

一方で、うまくいかなかったり、解決が困難になったりすると、意欲の継続が難しい様子も見られた。また、課題との関わり、他者との関わり、学びから次の学びへの関わりといった「他とのかかわり」の不足とその質についても改めて共通認識された。

具体的には以下のような姿である。

- ・学習意欲は向上したものの、学習課題を自らのものとしてとらえることがまだ不足している。
- ・自分の思いや考えを深めていこうとする意欲や態度が向上してきているものの、個人差が大きい。
- ・伝えたいことを整理したり、考えの根拠を明らかにしたりしながら表現する力、聞き手の反応を確かめながら伝える力が十分ではない。そのため、伝え合いという段階までは達していない。
- ・日常生活や教科間の関連に目を向けられるようになってきたものの、学びをもっとそれらに生かそうとする意識が一部の児童にとどまっている。

③昨年度の研究を通じた改善策

以上のような実態・課題を踏まえて、昨年度の研究の振り返りでは、

- ・自分事として課題をとらえ、主体的に課題解決に取り組む指導の在り方
- ・自分の思いや考えをもち、活動の中で思考を深めていくための手立ての工夫
- ・伝え合い学び合う力を高める指導の工夫

以上3点が次年度新たに組みたいと考える改善策として挙げられた。

そこで、今年度は目指す児童の姿を「めあてをもち、他とのかかわりを通して思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども」とし、その実現を目指して研修を進めていくこととする。

(3) 研究の仮説

的確な児童の実態把握のもと、問題意識を喚起する課題を設定及び提示し、思いや考えを大切に学習過程を設定する手立てを工夫するとともに、必要感のある伝え合いの場を作り出すことで、他と積極的に関わり合い高め合おうとする子どもが育つであろう。さらに、考えたりに伝え合ったりしたことを、次の学習や他の学習活動に活用していくことができるように働きかけることで、学びの質が深まるであろう。

(4) 目指す児童の姿

めあてをもち、他との関わりを通して思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども

- ・課題に対し、めあてを意識して取り組み、自分の思いや考えをもつ子ども
- ・自分の思いや考えを他に分かりやすく伝えようとする子ども
- ・相手の思いや考えを受け止めながら聞こうとする子ども
- ・獲得した学びを他や次の学習に生かそうとする子ども

(5) 指導上の工夫の視点

①自分の思いや考えを引き出すために

- ・考える意欲を引き出す課題設定や提示の仕方の工夫
- ・的確な実態把握とともに子どもの思いや願いを大切にされためあて（ねらい）の設定
- ・子どもの内面に生じた思いや考えを、具体的な表現として引き出すための工夫
- ・自分の考えを整理したり、ふくらませたりするための手立ての工夫

②「話す力」や「聞く力」を育てるために

- ・学年に応じた話し方や聞き方の指導
- ・話し合いを深めるための、学び合いの場・学習形態の工夫

③「学びを生かそう」とする意欲を高めるために

- ・指導計画における体験や実践の場の設定
- ・活用や発展といった実践の在り方を意識づけていく工夫

④評価の工夫

- ・評価方法、評価場面の工夫
- ・自己評価・相互評価による意欲付け

⑤基礎的・基本的な学力の定着を図る指導の工夫

- ・T Tや少人数学習が日常的に取り組めるような体制の継続
- ・チャレンジタイム、家庭学習の取り組みの工夫
- ・チャレンジテスト（国、算）の実施

⑥その他

- ・教育専門監による理科の授業の実施
- ・奉仕活動、部活動等による小中間の交流と協力



(6) 授業研究会計画

時 期	研究会	教科等	授業学級
6月16日	指導主事計画訪問	生活・総合	2梅・4梅
6月23日	指導主事計画訪問	音 楽	3梅
9月 8日	指導主事計画訪問	少人数加配	特定…6年 *他全学級授業提示
11月14日	中間公開研究会 (指導主事計画訪問)	生活・総合	全学級 *秋田県生活科研修会も実施
12月19日	指導主事計画訪問	外国語活動	5梅

(7) 諸講習・諸講座参加者

研 修 名	期 日	場 所	
学校体育連絡協議会	4/24	浅舞公民館	
通級指導教室担当者連絡協議会	4/26	県総合教育センター	
特別支援教育支援員研修	5/9	浅舞公民館	
安全管理指導者研修会	5/12	県総合教育センター	
「確かな学力」向上推進協議会 I・II	5/24・1/22	浅舞公民館	
秋田県生徒指導推進会議	6/27	浅舞公民館	
体育・保健学習指導者研修会	7/25・26	大曲小学校	
小学校教育課程研究協議会	8/3・4	総則	横手清陵学院
		国語	
		生活	
		外国語	
		特別支援	
特支コーディネーター地区別研修会	8/9	美郷町公民館	
キャリア教育実践研究協議会	10/30	県総合教育センター	

(8) 校内研修計画・諸講習一覧

	月	日	研修内容	日	諸講習・諸講座等	
研 修 の 方 向 と 施 策 検 討	4	20	全体研修(今年度の研修計画について)	17	小学校講師等研修講座 (総合教育センター)	
		27	児童を語る会	24	小・中体育担当者連絡協議会 (浅舞公民館)	
				26	通級指導教室指導者連絡協議会 (教育センター)	
	5	8	全体研修 (生活・総合の全体計画について)	2	仙北市教職員の集い(交流センター) 仙教研春季大会(大仙市民会館ほか)	
				9	特別支援教育支援員研修(浅舞公民館)	
				12	安全管理指導者研修会 (教育センター)	
				23	幼小連携推進事業オリエンテーション(近代美術館)	
				24	「確かな学力」向上推進協議会Ⅰ(浅舞公民館)	
				24・25	小中学校新任教頭研修講座 (教育センター)	
				26	新任特別支援教育コーディネーター研修Ⅰ期(教育センター)	
指 導 の 工 夫 と 検 証	6	2	全体研修(生活・総合指導案検討会)	27	秋田県生徒指導推進会議 (浅舞公民館)	
		12	全体研修(音楽指導案検討会)	28	小学校講師等研修講座 (教育センター)	
		16	指導主事計画訪問(生活・総合)		心理アセスメントの活用 C講座 (教育センター)	
		23	指導主事計画訪問(音楽)			
	7	5	全体研修(生活・総合の研修)	4	新任特別支援教育コーディネーター研修Ⅱ期(教育センター)	
				25	仙教研大会(ふれあい文化センター)	
	8	夏休み 中	28	全体研修(11月の授業構想検討会)	3・4	小・中学校教育課程研究協議会(浅舞公民館・美郷公民館)
				全体研修(諸講習・諸講座の伝達, 生活総合の研修・少 人数加配指導案検討会)	9	特別支援教育コーディネーター地区別研修会(美郷町公民館)
					17・18	小学校授業力向上研修講座2(教育センター)
	9	8	指導主事計画訪問(少人数加配)	4	小学校教職5年経験者研修講座(教育センター)	
		25	全体研修(指導案検討会)			
	10	19	全体研修(生活・総合指導案検討会)	24	仙教研秋季大会	
26・27				全国理科研(東京)		
30				キャリア教育実践研修協議会(教育センター)		
31				小学校教職5年経験者研修講座(教育センター)		
11	14	中間公開研究会(全学級授業提示・講演等)	2	仙北市教育研究会(特別活動東北大会)		
	30	全体研修(外国語活動指導案検討会)	7	新任特別支援教育コーディネーター研修Ⅲ期(教育センター)		
12	11	全体研修(生活・総合の研修)	17・18	学力向上フォーラム(秋田市)		
	19	指導計画計画訪問(外国語活動)				
ま と め	1	12	全体研修(生活・総合の研修)	22	「確かな学力」向上推進協議会Ⅱ(浅舞公民館)	
	2	21	全体研修(今年度のまとめと来年度の方向づけ)			